

# 令和7年2月1日 議会講演会・意見交換会で出されたご意見(要約・抜粋)

## 1. 今回の講演を聞いて思ったこと、また観光客に対してどのような思いがあるか

- 宿泊税・駐車場税はとってもいいのかなと思う。信号無視も道路で写真を撮るのはやめてもらいたい。
- 観光で来ている人に対して、迷惑だという目で見ていると一回きりの関係になりかねないのでは。
- 来る人も責任をもって来る、迷惑とならない責任ある観光が必要。
- 人が来てくれていることは、ありがたい話である。今の美瑛町の現状として、お金を落とすところがないのもあるが、お金を取っていない。もったいない感じがする。
- 根本的に駐車場が足りていない。
- 人が邪魔、車が邪魔と言っているが、観光客も迷惑なのではないだろうか。
- 町が住民と観光客の間に入って調整してはどうかという提案をしてもダメ。(町は検討してくれない。)
- 居住が美馬牛なので、クリスマスツリーの木のところも通るが、今は危なくて通っていない。狭い道路に大型バスを入れなくてほしい。
- 美瑛町のキャパ(受入数)に上限を設けることはできないのだろうかと思う。(入域規制)
- 自分が宿泊税を払う立場であれば、1,000円、2,000円なら別なところ(別の市町村)に泊まるかもしれないが、200円、300円であれば、域内すべての宿泊施設で同じ金額なら泊まる。
- 庭で、観光客が雪だるまを作られている家は大変だろうと思う。
- クリスマスツリーの木周辺の道路を有料化(高い金額設定)にすればよい。世界中へ発信して、そのくらい大変なんだということを理解・協力してもらおう。
- 駐車場にスポンサー(命名権も与えて)例えば、ケンとメリーの木のところであれば、日産とか。セブンスターの木のところは、JTとか。青い池は、青つながりで、ローソンとかエア・ウォーターとか。冬は見えないが、路面にスポンサー名をいれる。広く意見を求めて、お金を集める方策を考えると。
- 今回の講演会で、考え方の整理としてよかった。
- 宿泊税のパブリックコメントの説明はわかりやすく良かったと思う。
- 観光で来る人とどう交流するか。切り捨てゴメンではだめだと思う。
- こちらのマナーで考えるとギクしゃくするので、角度を変えて考えることも必要かと。
- 町の財政がわかった。
- 全体人口が決まっている中で、市町村で人の取り合いをしている状況。人を増やすこと考えなければいけないと思う。
- 入域課税、美瑛の旅行に対して、課税できないか。(旅行代金にオンして、旅行会社に納税してもらうのはどうだろうか。)
- 伐採した白樺は、すかさずだったと聞いている。木だって寿命はある。ダメになっている木の倒木で、観光客が巻き込まれる可能性だってある。絶対に残すのではなく、伐採も必要であるという認識を持つことも必要。
- 駐車場を増やせばよいという考えがあるが、周辺は農地だし、例えば、アスファルトをして駐車場を作ったとして、人が来なくなったから、また農地にしましょうとしても、土づくりに時間を要するし、

簡単ではないと思う。

- 観光農園もしている。お金をとって収穫体験等をさせているが、結構人が来る。
- 韓国人は、雪が大好き。雪の中で遊びたい。町民スキー場を観光客向けに整備して、お金を取って遊ばすような仕組みを作ったら良いと思う。
- もっとお金を落としてもらうことを考えていけばよい。
- 宿泊税の事務作業が大変。金額もしかりだが、観光課からの宿泊のアンケートも大変。国内、海外。どこの国から来たかの、税の方もきちんとできるかなと。
- 気持ちよく負担いただけるようなお金の取り方が必要。

## 2. 観光客が来るメリットとデメリットについて

- 観光に携わる人にはメリットがあるが、経済的にはメリットを受けていても生活ではデメリットの部分もある。
- 町全体のデメリットは、オーバーツーリズム。
- 町民コメントを何度やっても、同じことの繰り返しである。
- 事業者懇談会でも、詳細データが提供されていないと感じる。
- 「人が沢山いるところから、とる」を議論深めるべき。
- 宿泊税と入場税だけしか議論されていない。
- 今日、検討委員会のメンバーがなぜ参加していないのか。
- オーバーツーリズムと感じている人が多い。農業者や静かに暮らしている人達に納得してもらう方法を。
- 観光客は、何人位がちょうどいいか、まず目標立ててはどうか。
- 来た人にお金を使ってもらう仕組みを作るべき。
- 税を掛けても、観光客数が減らないのであれば、問題解決につながっていない。他の方法考えるべき。
- 青い池以外の駐車場を有料にすることは、難しくはないだろう。人を配置しても充分人件費は賄える。
- 町は、やるべきことをやっていない。例えばクリスマスツリーの木に、駐車スペースを作る提案したが、「できない」の一言。木の持ち主に交渉しているのか。理由がきちんとあれば、農地転用はできるはず。
- 白樺の並木も、農家にも町にもメリットがないから切った。農家さんも儲かる仕組みが必要。
- 美瑛駅周辺に停まるバスからはお金を取るべき。町がルールを決まればいい。警備会社の社員を置く。
- 美瑛駅周辺に停まるバスは、毎日何台来ているか、町は把握しているのか。それによって、規制するべき。
- バスの規制について、「私、定年退職したので時間あります。ボランティアやりますよ」
- 駅周辺のバスについて、今に始まった問題ではない。何故もっと早くやらないのか。
- 美瑛の丘に、有料エリアを作っては？町民スキー場を活用など。
- 来てくれた人達に楽しんでもらうために、私達町民は何をすべきか、皆で考えたい。町民で変えていける。

- 対価がない人(お金を落とさない人)は、お客ではない。「おもてなし」は無料ではない。
- 議員達は役割をどう考えているのか。議会はどう取り組むつもりなのか。議会は責任がある。
- データの把握は、第1段階であり、ゴールを目指すべき。
- 懇談会やっても、意見集めても、行動につながっていない。
- 集めた意見はどこに行ってるの？パブコメもやっているだけと感じる。
- 町が負担しているとされる 7 億8千万円の詳細が、提示されていない。
- お金を生む原資が沢山あるのに、青い池のトイレも無料って、理解できない。

### 3. 観光客が来ることによる社会的なメリットとデメリットについて

- 雇用が生まれているとは思えない。働く人が少なく、若者が少なすぎる。
- 観光客から集めた財源で、人を育てる仕組み作りをしてほしい。
- 町の問題解決をするためにはお金が要る。お金が生まれないのであれば、観光は要らないのでは。
- クオリティの高い客を引き付ける工夫が必要。
- 事業計画を立て、実行しなければ意味がない。役場は何でも「無理」と言われるが、スピード感が必要。
- パブリックコメントのアンサーを公表してほしい。そうすれば、コメント出す側も進化してくるはず。

### 4. 講演会の内容を振り返りフリーで話し合ってみましょう

A: 講演会の先生の話は理解できたか？

F: 観光客が来たら7億9千万円かかっていると言っていたが実感がわからない。上下水道、ごみの処理以外で観光客が来ることでかかってくるお金は何があるのか。

A: 混雑場所に可視化システム(有名観光地にセンサーを設置、HPで交雑状況を確認できる)を設置し、観光客を分散するものを導入したり。

J: クリスマスツリーの交通整備は誰がやっているのか。

A: ああいう誘導員も町(観光協会)で雇っている。

C: 財政にかかる行政資料が出て、前回から出されている資料によると、7億9千万円の内訳書いてあるので見てほしい。<資料回す>

講演会の資料で「深刻な財政状況」と書いてあるが、心配いらぬ。美瑛町が財政運営計画で5年間お金困らないと言っている。ここで観光税なんか入れなくても5年間安泰と書いてあるので、課税しないで大丈夫ですから。

G: クリスマスツリーの持ち主はどう思っている？どんなメリットがあって植えているの？美瑛町のこの景色は農家の人が、農家のためにつくったもの。父と当時の安藤町長で開拓、国へ要請、整備してもらった。莫大なお金をかけて作りあげた土地なんだ。農家のための畑や景観なのに、観光客のせいで木を切っている。メリットはあるの？

A: 持ち主、農家へのメリットはない。元々は農家のため。前田真三が写真を撮って美瑛町を宣伝して、町がひとつの観光業を行っていた。

G: ツリー周辺は車すごい混雑。簡易の抜け道を作り、入れる人数を絞ったら良い。

F: 熊と一緒に。地域の人迷惑しているから殺してほしいが、外部の人からしたら殺すなんてかわいそ

うだという。木の考えも一緒。

G:熊はこっちがいじわるしないとなんもしない。一緒に歩いたこともある。なんで熊と一緒になの。熊はお利口なんだ。

A:農家の人からの苦情(病気・壊される)も多く上がっている。来ないでほしいという人もいる。

J:観光に恩恵を得ている職業からしたら、もっと観光客が来てほしい。農家と観光業にミスマッチが生まれている。農家・観光業以外の人の考えも大切。

G:先生の話で、町民の税金が観光客に使われていると。税金を貰うってどうですか。

A:先生が言っていたことは、町民税や交付税は本来町民の人の為のお金なのに、観光客が多く来ることでそこに税金が使われて、町民に十分お金を使えなくなるという話。

G:そんなに町民のお金が使われているなら、観光客を来ないようにしよう！完璧な考えだ。

全員:そんなわけにはいかない。

F:観光客を来なくしたら、サービス業が大打撃を受けてしまう。時期によって来訪者数も違うからそこをうまくできないか。

H:観光客が来ることで必ずメリット・デメリットがあることはわかっている。

G:これから宿泊税を宿泊したらとられるの？

F:決まればそういうことになる。消費税を国が無くせば、美瑛町は自由に課税できる。

B:農家の立場からいうと、昔の写真を見て来ている国内観光客者と、今の韓国ドラマを見て来ている国外観光客とでは質が全く違う。対応が遅れると、木を切ることになる。ツリーの持ち主も今は我慢していると思う。農家は来てほしくないみんな思ってる。美瑛町はどこでも有名だから、東京に出すとすぐ売れる。でも農地にはいらぬ。観光客がくることで観光業は恩恵得ている。だから税金を徴収することくらいしてほしい。観光客が減ると人口も減るから、考えていく必要がある。

F:人間、言葉繋がらない人の注意は無視する。中国語や韓国語だということ聞く。農家も、時間・お金はかかるけど、簡単な言葉(叱る言葉)は覚えて努力するのも一つの手。言葉は大切。視点は違うけど、観光客が変なことできないと思う。

A:受け入れる側も何かしら必要かも。生活の違いがあるのは分かった上で、観光客もそれぞれの町の文化分かってほしい。

J:観光客と農家で線を引き過ぎに感じる。通りすぎるだけではなく、農家と交流・体験をしてもらえるように進めるのはどうか。その口コミで美瑛にまた来たら、町にもお金が入るし、農家も交流が深められてよい気がする。美瑛にきて良かったと言ってほしい。

B:外国人には無理な気が、民泊も増えているが。

A:美瑛町の観光客の中で、宿泊利用者は1割程度。

J:飲食利用者は多い。この人からとれたら一番いい。

B:飲食で課税すると、消費税との2重課税になってしまう。全国でバラバラになる。

H:町内の各トイレを有料にするのはどうか。国鉄時代は、トイレトーパー有料だった。試しに青い池トイレの有料化は。観光客絶対お金はらう。

F:そしたら、無料で使えるトイレがある場所(公共施設、お店)に沢山来ちゃう。

B:外国行ったらトイレにチップ取られる。外のトイレは、冬に不凍液を入れるが、それにお金がかかる。

G:でも冬って外のトイレどこも閉まってる。とても不便。

B:お金を払ってもらったらトイレは開けられるし、綺麗にする必要はある。

H: やれるかは別としてアイデアとして。少しは、お金に余裕がでてくるのではないかな。

J: いうほど、観光客によって住民サービスが低下している実感がわからない。見えないところから減らされているのか。

C: 低下していない。財政運営計画で大丈夫って町がっているから。

A: それは5年間の話。未来まで考えた時に、せっかく教育や子育てが充実してきているのに、どんどん観光客に使われていって、今後こんなに充実してない可能性もある。

C: 大丈夫って町がっている。5年大丈夫なら今後も大丈夫。住民サービスを減らされるなら、議員が止めればいい。

A: 国からの交付税もいつまで貰えるかはわからない。保証できない。

H: 今この観光客が多い時に、アイデアをどんどん出していくことが大切。国の観光での利益は、8兆円ある。この利益を地方へ分けてもらうように働きかけをしてはどうか。

F: 日本人は車の免許をとるのに何十万もかかる。中国はたった10万で運転できちゃう。こういうことも国の責任だ。こうなったら国に責任を取ってもらおう。

H: 青い池周辺が渋滞起きている、JRが外国人でいっぱいでは弊害はすでに起きている。何か対策するにしてもお金がかかるから、もう国に出してもらう以外ないのではないかな。議員が国に働きかけていくことが大切。全道の議員で国に対して何かできないか。

C: 20億もっているって町が言ってるんだから大丈夫。お金がある町だと町がっているんだ。

F: あるあるって住民に負担が出るのと、お金があるのは別だと思う。

C: これだけの予算組んでから大丈夫。これでうまくいかないってない。

A: 飲食店的に、何か町にしてほしいことはあるか？

C: 発言してない人に発言してもらおう。

E: 自分は観光業でも農家でもないから、中立的な立場。どちらの意見も納得できる。美瑛にくる観光客の質があがってほしい。

D: 観光業者への指導等はしているのか。マナーの悪いバスなどもみられる。

B: 一応はしている。北海道にくるひと全体に多国語で案内したらいい。

J: パーク&ライドは？指定の場所は、町のバスでないと行けないようにするとか。

C: パーク&ライドの話は、以前も出たことがあった。タクシー会社やバス会社との絡みもあるから、そこで町が運営したらまずい。東川はもうすぐやるって言っていた気がする。

D: 行政と観光業者(バス会社)でもっと協議をして、話合うべき。

B: 美瑛は道が沢山あるから、どこからも観光地へ行けてしまう。入らないように道をふさぐのは大変なこと。不可能だと思う。

C: 前、町でカーシェアもやっていたけど不評だった。

B: 美馬牛駅からクリスマスツリーの木まで2キロあるが、観光客は歩いていくみたい。

## 5. これまでの町の進め方、財政も含め、また宿泊税等も含め町民のみなさんはどのように見えていますか。

○町がせざるをえないことは、オーバーツーリズムに対する組織改革。観光振興に当たる職員が2人しかいないため、その役場担当職員の業務が過多になっている。

○自身としてオーバーツーリズムに対する実害はない。宿泊税導入に当たっては宿泊業者に負担が生じているように感じている。

○この1, 2年でだいぶいろんなことが良くなっているが、町は肝心なところを抑えていない。町財政

の行く末が見えていない。導入については賛成だが宿泊税についてはもっと時間をかけるべきと  
考えている。

○町の基幹産業はあくまで農業であり、観光客に対してもっと農業のPRをしてほしい。

○観光客がたくさん来ていてうれしく感じている。今日の講演で観光に対する町の財政負担が多くな  
っていることが分かった。宿泊税については、300円でいいと思う。

## 6. それぞれみなさんの立場で、宿泊税を取ることにどう考えますか。

○宿泊税をとることについては反対の意見だったが、税というものにアレルギーを持っている人もい  
ると思う。今は、そのこと(宿泊税等徴収)で来なくなるまちにしなきゃいいという考えで、現在は賛  
成の立場でいる。

○宿泊税については賛成の立場。300円でも少ないと思う。

○基本的には賛成。総論的にはマルだが、青木先生の資料のシンキングタイムをやってみてはどうか。

○基本的にはマルだが、なんで宿泊だけなんだと思っていたが、今日の講演でなぜかわかって、ああ  
そうなんだという気持ちになった。普通税については、何に使われるかわからないため、目的税とす  
べきと考えている。

○基本的にはOKの立場でいる。

○普通税で進めることについて賛成の立場でいる。

～司会者から青木先生への質問～

司会:普通税で進めると使い道が見えないという意見に対してどう考えますか。

青木先生:日本は基本的に役所に対しての信頼がない、どう使うのかわからないという意見も出てく  
る。しかし、おまかせ民主主義である。普通税にした方が、最終的に自分に返ってくると理  
解したほうがいい。

○観光客がたくさん来ることについては、自分にとってはマイナスしかなく、全くプラスがない。

○駐車場の料金については、もっと上げていいと思う。

青木先生:宿泊税に取ることについては、払う方は負担感があまりなく、むしろ取る方の負担感が強くな  
っている。

～司会者から青木先生への質問～

司会:急ぎすぎとの声もあり、北海道の導入時期とずれたとしても問題はないのか。

青木先生:なぜ急ぎすぎというのが理解できない。これ以上あと何をすればいいのかと思う。首都  
圏以外のまちの財政どこも厳しい状態にあり、観光分野に限らずまちの財政を心配した方  
が良いと考える。

○2018でも農地侵入などがあり、今もなお続いていて、なんの対策もされていない。その原因は役  
場の観光振興が2人となっているため手薄となっている。オーバーツーリズムに対するPRのため  
にも、役場はオーバーツーリズム対策推進室を作り、しっかりと対策をすすめるべきと考えている。

## 7. 議会に対して、町に対して言いたいことまた思いなどについて。

○クリスマスツリーの木へ来た人に対して募金を募ることを進めてもらって、その収入で、周辺の柵を  
作ったり農業分野において対策が打てると思う。

青木先生:クリスマスツリーの木前の道を封鎖して、進入に対して税をかけて、税金をとることはでき

る。そしてその周辺の整備などに使うことはできる。

○クリスマスツリーの木、所有の方の家に観光客がトイレを借りに来ているので、町営のトイレの設置をお願いしたい。

青木先生：駐車場を作りトイレを作るだとか移動式のトイレでもいいと思う。

○トイレは入りやすくきれいなことが必要で、仮にお金を取ったとしても、トイレにいろいろな整備をして、写真が撮れたり、JPOPなどなどの興味のあるもの設置して写真スポットにするなど、トイレを観光名所となるようなものにして、お金を取るもいいと思う。

○北海道の人は道内で完結することが多く、もっと道外に出ていろいろ見てきて吸収してきたら、もっと変われると思う。

以 上